



自由民主党公認

浜田 やすかず

未来に

責任を持つ政治

浜田靖一の主張

日本の平和と自主独立を守るために

我が国は、米国を始め、自由や民主主義、人権、法の支配といった基本的価値を共有する国々と手を携えながら、世界の平和と安定にこれまで以上に取り組んでいく必要があります。また日本を取り巻く東アジアの不安定な状況の中で、いかなる事態にあっても、国民の命と平和な暮らしは守り抜く。その決意の下、自衛隊法の整備等の切れ目のない安全保障法制の整備を進めて行くことが重要だと思えます。

地域を元気に

地域を元気にする事が日本の活性化につながります。つまり私たちのふるさとで多くの方々が従事する農林水産業・中小零細企業を守ることが日本を守る事です。浜田靖一は、ふるさとの皆様の生活に少しでもゆとりが生じるように全力を尽くします。また市町村が直面する財政的な問題は国の助けなしには解決できません。

安倍政権が地方創生に真剣に取り組もうとしている今、浜田靖一は国とふるさとの市町村の間のコーディネーターとしての役割に精力的に取り組めます。

持続的な社会保障制度の確立を

国民のみんなが安心できる持続可能な社会保障制度に向けて、自助・自立を第一に、共助と公助を組み合わせ、持続可能な社会保障制度の構築を目指します。また、障害者などの弱い立場の人には、しっかりと援助の手を差し伸べていきます。税や社会保障料を負担する国民の立場にたつて、不公正な生活保護の見直しやバラマキを阻止し、社会保障制度について必要な見直しを行い、公平な制度づくりを進めます。

教育は国家の基本

将来を担う子どもたちは、日本の宝です。全ての子どもの健全な成長と安全の確保が大切です。教育再生を断行し、世界トップレベルの学力と規範意識、歴史や文化を尊ぶ心を持つ子供たちを育みます。また、待機児童解消加速化プランを展開し、保育の質を確保しつつ待機児童解消を図ります。さらに教育行政の責任体制の明確化、専門家との連携強化などを図り、「いじめ問題」に的確に対応できる体制づくりを進めます。

浜田 靖一(はまだやすかず)

当選回数7回

昭和 30年 10月21日千葉県富津市に生まれる
昭和 49年 千葉県立木更津高等学校卒業
昭和 55年 専修大学経営学部経営学科卒業
平成 5年 衆議院議員選挙初当選
平成 15年 防衛庁副長官(第一・第二次小泉内閣)

平成 20年 防衛大臣(麻生内閣)
平成 24年 自民党国会対策委員長
平成 24年 自民党幹事長代理
平成 26年 自民党国際局長



<http://www.office-hamada.jp>

比例代表も自民党へ